

研究室のぞいてみた。

BY 農学部自治会

農学部長 村上 章 教授

“現在はどうのような研究をされていますか？”

—簡単に言うと、土の力学をやっています。農業土木の一つとしてやっていますが地球工学系の地盤工学との関わりも深く、地盤工学会の会長をしたこともあります。実験できないような地盤の振る舞いを計算で考えようという研究です。具体的には、海上に建設された空港の地盤について、地震が来たらどうなるか、水没しないかといったことを考えます。かなり緻密な三次元の計算で、コピー機の中でトナーがどう混ざり合うか、河川堤防の内部がどのように侵食されているかといったことにも応用できます。

“かなり工学的な研究だと思いますが、農学部でする意義はどこにあると思われますか？”

—農学部でするのは単に農業水利だからです。そもそも農業土木というものが日本独自で、海外では土木というと工学になり、農業工学というと農業機械になります。要するに、たまたま農業利用されていますが、農業以外にも使えるものだという事です。同様の例はほ



かにもあって、例えば資源生物科学科では昆虫学が研究されていますが、それは理学部でも研究されています。何かの役に立つから研究するのではないので、どの分野に応用されるか、どの学部での研究かをさほど気にする必要は無いと思います。

“学部生時代の4年間で取り組んだことは何ですか？”

—当時の大学受験は公立高校による争いだったので今ほど厳しくなく、勉強の余力を残して大学に入学しました。自分としては国語などの教科が勉強不足であったのは不本意だったので、力学や数学に加えて専門と関係ない文系科目やドイツ語なども勉強しました。2回生では多少サボってしまいましたが、3回生の頃はとにかく授業には出ることを心がけていました。出席率は98パーセントくらいだった

プロフィール

岡山朝日高校に
1971 入学，大阪
府立豊中高校を
1974 卒業，京都
大学農学部農業工
学科（現地域環境
工学科）を 1978
卒業後，工学研究
科土木工学専攻に
進み，1980 修
了．兵庫県庁を経
て，1982 京都大
学農学部助手。
1994 京都大学農
学部助教授，1999
岡山大学環境理工
学部教授．2009
京都大学農学研究
科教授，現在に至
る。

たと思います。また、大学院は工学研究科に行くことを選択しましたが、農学部から進学するのは前例のないことだったので、かなり勉強しました。最近では高大連携が叫ばれているので早い時期から専門にとらわれたり、逆に興味のある分野が見つからないと言ったりする学生が多いようですが、そんなもの見つかるわけ無いんです。選り好みせず幅広く学習するうちに思わぬところから興味がわいてくるものなんです。また、最近では院試に臨む学生が合格する必要最低限しか勉強しないのも気になります。いつまでも、一番勉強したのは大学受験の時とっているようじゃだめだと思います。

“耳が痛いです。”

—いやいや、まだまだこれからや。でも、本当に学問を自分のものにしようと思うなら、研究者になろうと思うなら、そういう厳しい修行をどこかでしなければならぬと思います。

“学生時代に勉強以外で取り組んだことは何ですか？”

—勉強以外ねえ。麻雀やパチンコを2回生の頃にやった事は何の自慢にもならんしなあ。2回生の頃

はみんなサボり倒してました。麻雀仲間はみんな教室より雀荘に行って探したものです。そう考えると体育会でやりきった人は偉いと思います。意外にも、昔選手として活躍していた人が、いま会社の重役になっていたり教授になっていたりします。最近では偏った部活、偏った専門というのが多いように感じられます。スポーツに一辺倒だから勉強はいいやという風潮は、真面目と言えば真面目かもしれませんが、打算的な気がします。

“どんな学生を求めますか？”

—専門分野に限らず、幅広い知のポケットを今のうちに広げていってほしいですね。自分自身はいろんな事をしてる人と知り合いになっていますが、今から専門を広げるということはできません。人はポジションが上がっていくにつれて専門を広げると言うより深める方向になってしまうので、本当に今のうちです。また、野心を持った学生がほしいですね。俺が一丁新しい学説を打ち立ててやる、教科書を書き換えてやるというような野心を持ってほしいです。

(文責：筒井文晴)

教員インタビュー企画に関心のある方へ

「この先生にもお話を聞いてみたい」

「私もインタビュアーをやってみたい」

という方は、

農学部自治会（連絡先下記）までご連絡をください。

インタビュー企画第二弾を一緒に作りませんか？

農学部の学生の方なら回生を問わず誰でも参加可能です。

ご連絡お待ちしております。

農学部自治会

農学部総合館一階北側 N146 E-mail : ku.ajichikai@gmail.com